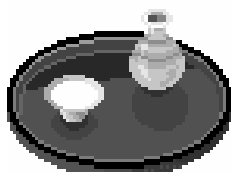




あんな人、こんな人、どんな人？

20代後半のヘルパーNさん、20代前半のヘルパーSさん、私のある日の
 会話です。洋服の話をしていました。20代後半のヘルパーNさんが
 『タートルネック』の事をつい、『とっくり』と言ってしまいました。「古
 う～！！」と笑っていたら、20代前半のヘルパーSさんは「『とっくり』ってな
 んですかあ？」・・・そ、そっかあ、このくらいの年の子には、笑いにもならな
 いんだ・・・ははっ。(自爆)



別の日、また別の20代後半のヘルパーNさんに「『とっくり』
 って知ってる？」と聞いてみました。すると、

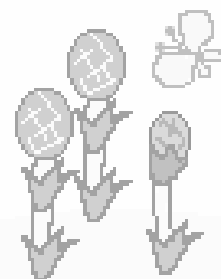
「知ってますよお！あのお酒入れるヤツでしょ！！」

・・・確かに。でも、一番にそっちかいっ！！（ー ー；）

色々な人生観を垣間見ることが出来ました。はい。

◆◆ 利用者MARUちゃんのちょっと思うところ ◆◆

私は去年10月から手動車椅子を使い始めました。電動車椅子に乗り始め
 たのは5年ちょっと前。手動車椅子では物足りなくな
 り、乗り始めた電動車椅子ですが、やはり障害の進行
 によって筋力が低下し、コントローラーの操作自体が
 厳しく、危険を感じるようになって来たのです。進行す
 るのが目に見える時って、切ないけど、どうしようも
 ないね。。。顎や頭、呼吸での操作方法も首の筋力が弱
 い私には危険だと思い、試してはいませんが、どうなんでしょうね？誰か実際
 に使ってる人、教えてください。



ま、そんなこんなで手動車椅子を使い始めて思ったお話 をします。まず、電

動のように力を込めてコントローラーを操作しなくて、腰や背中や肩の疲れ具合は減ったけど、自分の思った方向に思い通り向けない歯がゆさがモノスゴイ！！細かい向きや動きまではいくら慣れてるヘルパーさんでも伝わりにくいものです。でも、基本的に人と会話をするときって、皆さんどうしますか？たぶん、特に狭い場所でなければ、お互いの顔や目を見れる位置で会話すると思います。「人と会話する時は相手の目を見て話さない。」小さい頃、よく言われました。お店などでも真正面とは言わずとも、それに近い斜め位置にいる方が商品も見やすいし、店員さんとも話しやすいはず。けど、それに気付いていない人も多くいるようで、ほとんどの人が真横に近い位置に車椅子を付けようとしています。わざわざ真横について、顔だけ見たい方へ向いて話をしたりって、出来ない事もないけど、かなり不自然だと思うのは、私だけでしょうか？こんな事もあります。道端で知り合いに話しかけられたりってよくありますよね？挨拶程度なら、立ち止まらなくてもいいかと思いますが、「MARUさん、久しぶりー！最近どうです？」と会話らしきものが始まっているのに、止まりもしないでそのまま進行方向へ…こういう場合でも「止まれ」の指示がないと止まらないの？挨拶だけか会話か判断は難しいだろうけど、明らかに会話をしようとしてる雰囲気の時でも立ち止まらない人が多い気がします。例え、止まってもヘルパーさんの知り合いでもあれば、ヘルパーさんだけがその相手の方を向いて「あー！元気ですかー？」って挨拶していたり…すごーく不思議に思います。こうなると「自分の知り合いじゃないと止まらないの？」って、思いたくなくなってしまいます。主体性はどこにあるんだろう？？って、感じます。もうひとつ、よくあるのが「あっ！あそこに☆☆って書いてありますよ。あれでいいんですかね？」って…「あれ」って何？「あそこ」ってどこ？右？左？前？後ろ？後ろ方面なら、車椅子動かしてくれないと見えないんですけどお…みたいな状態。後ろからもちろんヘルパーさんは話しかけるので、「あそこ」や「あっち、こっち」ではわからないのは当たり前。車椅子を押している都合上、目を見て話すのは不可能なわけだから、お互いいつもよりきちんと伝えることを意識しないとイケないなあと、感じますね。特に筋力が弱い障害の人は、横にも向きにくいし、視野に入りにくいものを見る時は首も目も疲れやすいのです。その辺のことは付き合っている中である程度伝わっていくものだと思う私って甘いかな？もちろん言葉でも伝えていますが、基本的には「人と人」の付き合いです。

まず、介助をする「自分」の場合はどうだろう？って改めて考え、感じ、そして介助を必要とする「その人」がどうすれば人と話しやすいか、ものを見やすいかがわかってくるはず。だって、視線が違うだけであとは何も変わらない。

車椅子の基本操作を覚える、安全に押す、指示のあった目的地へ着実に向かう事も大事なことです。そこに「心、キモチ」がないと快適に介助を受け入れられないと思います。車椅子を押してもらうことは、ただ単に「運んでもらっている」わけではありません。思いがけず人と会って会話をする、気になるアクセサリーを見つけ合わせてみる、道端で咲いてる花を見つけ立ち止まる、そんな事も当たり前前に楽しみたいのです。